演習：個人ワーク・グループワーク用

【事例 1】

A さん（男性、80 歳）には軽度の認知症があり、ここ半年は何事にも億劫になりなかなか意欲がわかない。最近は、自宅に閉じこもりがちになっている。妻の B さん（78 歳）は、普段の家事に加えて、A さんの身の回りの世話もしなければならず、最近は疲れがたまって横になることも多くなっている。

最近 A さんのケアマネジャーになった C さんが訪問することになった。A さんは、「自宅でのんびりして過ごしていきたい」と話していたが、妻の B さんは「私が疲れているから、近くのデイサービスを利用して、時々老人ホームで預かってくれるショートステイを利用してほしい」と話していた。C ケアマネジャーは、A さんと B さんのそれぞれの気持ちを理解したが、A さんが望んでいないデイサービスの利用を、介護疲れで利用を進める妻の B さんの意向も汲んで、ケアプランに盛り込んでいいのか、判断に迷っていた。

【事例 2】

D さん（女性、82 歳）は重度の認知症で意思疎通ができず、要介護度 5 でほぼ寝たきりである。夫の E さん（91 歳）と、息子の F さん（60 歳、パート職員）と同居しており、介護はこの２人が担っている。D さんは週２回デイサービスに通い、入浴と食事をして帰宅する。日常的な買い物と調理は息子の F さん、食事介助とオムツ交換は夫の E さん、デイサービスでの送り迎えの準備などは２人で行っている。それ以外の介助はほとんど行っておらず、食事も１日２回のときや、尿臭が漂うこともあり、介護に熱心ではなく放任の様子も見受けられた。

D さんのケアマネジャーの G さんは、介護負担軽減のために、夫と息子の２人にデイサービスの回数を多くすることや、ショートステイの利用、加えて将来的には特別養護老人ホームなどを検討することを勧めた。しかし、夫の E さんからは「費用がかかるため、今のままでいい。月々のデイサービスの利用料を払うだけで精一杯だ。」と話した。

ケアマネジャーの G さんは、今後介護者による虐待が続くことなどを心配しながら、見守っている。

個人ワーク・グループワーク

個人ワーク

１．２つの事例を読んで、それぞれのケアマネジャーはどんな状況でジレンマを感じているのか、箇条書きで書いてください。

【事例１】

【事例２】

２．あなたが２つの事例においてケアマネジャーなら、チームメンバーでどのような内容を検討しますか？

【事例１】

【事例２】

３．上記２で挙げた２つの事例について考えます。今日、あなたが寝ている間に奇跡が起こり、翌朝、問題（ジレンマ）がすっかりなくなって解決しています。どんな状況ですか？

【事例１】

【事例２】

４．上記３のような、２つの事例が奇跡的な状況になるために、あなたは現実的にはまず何から始めますか？

【事例１】

【事例２】

グループワーク

１．簡単な自己紹介（名前、所属、経験年数、好きな食べ物、最近うれしかったことなど）

２．①司会進行、②書記の方を各１名決めてください。（誕生日が今日 7/27 に一番近い人）

３．「個人ワーク」で取り組んだ２～４について順番に発表してください。

４．書記の方は、各発表者の発表内容のポイントを箇条書きで書き留めてください。

５．全員が発表し終えたら終了です。

６．書記の方は、全体の振り返りの際に、グループでの発表「４」のみ発表してください。